

令和2・3年度 彫刻作品

素材・モチーフの魅力の表現について

上 床 恵 (芸術科美術)

1 「個生代」 鉄溶接 H180 × W120 × D100 (cm) 2020 南日本美術展 海堂賞



本作品は、屑鉄を寄せ集めて溶接して制作した作品である。高校時代、鉄とシーグラスを組み合わせた作品を作ったことから鉄の素材としての面白さや鉄溶接の頑丈さに魅力を感じており、今回ありがたいことに実家とのタイミングが合い制作をする事ができた。制作にあたって、様々な鉄工所に屑鉄を分けて頂き、材料を集めた。当初は鉄から森や自然を作るイメージで構成していったが、制作していく中で段々と一つの生き物に見え始めてきて、新しい世界観ができ、面白くなりどんどん鉄を追加し溶接していった。錆びた鉄のもつ、強く温かい魅力を今後もっと生かしていきたい。

研究紀要 あまみ, (11) : 109-113 (鹿児島県立奄美高等学校)

2 「おばあちゃん」 FRP H80 × W45 × D65 (cm) 2021 日本彫刻展 入選



本作品は、水粘土で原型を作り、FRPで成形した作品である。1の「個生代」とは異なり、モデルをしっかり観察してモデルの魅力を表現することに重きを置き制作した。モデルは今までもお世話になっている祖母である。祖母の優しさと時に見せる女性的な強さが魅力だと考えている。祖父とともに長年畳屋を営んでいたこともあり、作業をするときの割烹着やほっかむりをしている姿は私の中で印象的だった。制作をする中で、形を正確に捉えていくことと、モデルの嫌がる表現を抑えながら雰囲気似せることに難しさとやりがいを感じた。つつい急足になってしまったり、誇張が大袈裟になったり、そもそものデッサン力など課題もたくさんあったが、楽しんで制作することができた。

2 製作中の様子
(1)個生代



(2)おばあちゃん



